

概況



管理者巡視での通常点検の様子

管内一目統計

令和6年4月1日現在(火災・救急・救助は5年中)

面積・人口・世帯	面積	人口	人口密度	世帯数
	1,160.82 Km ²	130,914 人	113 人/Km ²	68,437 世帯

予算・機構・人事	消防予算	署所数	職員数	消防団員数
	2,532,500千円	消防本部 1	定数 182 人	定数
		消防署 3	実員 183 人	2,195 人
	住民1人当たり	分署 3	(再任用職員4人含む。)	実員
	19,345 円		救急救命士 61人	1,680 人

機械・施設	水積載車	特殊車両	救急車	水利
	タンク車 6台	はしご車 1台	高規格救急車	消火栓
	化学車 1台	救助工作車 2台	12 台	1,757 基
	水槽車 2台	林野工作車 1台		防火水槽(プール含む。)
	(原液搬送車含む。)	大型化学高所放水車 1台		759 基

火災・救急	火災件数	出火原因	救急件数	救助件数
	86 件	① たき火 33件	7,983 件	68 件
		② その他 14件		
	約4.2日に1件	③ 火入れ 9件	1日当たり	約5.4日に1件
	の割合で発生		約 22 件	の割合で発生

予防	防火対象物	危険物施設	防火訓練指導状況	消防クラブ等
	4,641 件	製造所 1 件	訓練回数	婦人消防クラブ 2
	(うち8条対象物	貯蔵所 341 件	1,471 件	少年消防クラブ 1
	1,385 件)	取扱所 221 件		幼年消防クラブ 23

消防組合管内の概況

大隅肝属地区消防組合は、大隅半島中央部の東経130度52分、北緯31度23分に消防本部を置き、東西46km、南北70kmで、南北に細長く面積1,160.82km²、人口130,914人の広大な地域を管轄し、鹿屋市、東串良町、肝付町、錦江町、南大隅町の1市4町で構成されている。

管内は東に太平洋、西に鹿児島湾を望み、雄大な高隈山系と国見山系に囲まれ、豊富な漁場と森林資源に恵まれた環境にあり、中央部は、6,000haの広大な笠野原台地に国、県営の畑地かんがい事業が施工され、散水設備を活用した畜産、茶、園芸等の農業が盛んである。

また、近代科学の粋を結集したJAXA内之浦宇宙空間観測所、亜熱帯植物の繁茂する本土最南端の佐多岬には、展望台を含む観光施設が本格開業し、多くの観光客が訪れている。

さらに、全国唯一の単科系の国立大学法人鹿屋体育大学や国立大隅青少年自然の家は、青少年の教育に大きく寄与している。

日本最大級の規模を誇る、かのやばら園や96.5haの敷地を有する県立大隅広域公園など、鹿屋市を中核として産業、教育、文化等の更なる発展が期待されている。

人口・世帯数及び面積

(令和6年4月1日現在)

署・分署区分	構成市町	人口(人)	世帯数(世帯)	面積(km ²)
中央消防署 (輝北分署含む。)	鹿屋市	98,442	50,731	448.15
東部消防署 (内之浦分署含む。)	旧串良町			
	東串良町	6,388	3,261	27.85
	肝付町	13,762	7,455	308.04
南部消防署 (佐多分署含む。)	錦江町	6,263	3,472	163.19
	南大隅町	6,059	3,518	213.59
合計		130,914	68,437	1,160.82

東串良町

Higashikushira

東串良町は、大隅半島の中部東岸にあり、傾斜地が少なく、穏やかで平坦な地形となっています。白砂青松の柏原海岸と、実り豊かな田園や自然に囲まれた土地柄で、唐仁古墳群に代表される悠々の歴史を持つ町でもあります。主な産業は農業で、施設園芸、畜産、水稻を三本柱に、自然と調和した活力と、うるおいに満ちた町づくりを目指しています。



名所 志布志石油備蓄基地

唐仁古墳群
ルーピン畑

主なイベント

ルーピン祭り(4月)
ピーマン狩り&農業祭(6月)

特産品

ピーマン・キュウリ・スイカ・水産加工品

肝付町

Kimotsuki

肝付町は大隅半島の東部にあり、太平洋を望む美しい国見山や甫与志岳を擁する照葉樹林に囲まれた場所で、流鏝馬(やぶさめ)とロケットの町として知られています。

また、広大な肝属平野では早期米の生産が盛んで、権現山の麓にある轟の滝は、妖怪一反木綿の古里としても有名です。



名所 塚崎の大クス

内之浦宇宙空間観測所・叶岳ふれあいの森
塚崎の大クス(推定樹齢1300年)

主なイベント

高山やぶさめ祭り(10月第3日曜)
えっがね(伊勢海老)まつり(9月から10月中旬)

特産品

黒豚・ポンカン・タンカン・辺塚だいたい
えっがね(伊勢海老)・マンゴー

錦江町

Kinkou

錦江町は大隅半島の西部にあり、海あり山ありの土地で、鹿児島湾を挟んで開聞岳に沈む夕陽を望むことができます。

また、クオリティーの高い影絵アートが夕陽に照らされる光景は、まさに幻想的です。

山手には約2kmに渡り千畳敷の川床を流れる県立花瀬自然公園があり、新緑から紅葉まで楽しむことができます。



名所 夕陽に映える影絵アート

県立花瀬自然公園・神川ビーチ影絵アート
神川大滝公園(高さ68m、長さ130mのつり橋)

主なイベント

花瀬公園祭り(4月)、錦江レゲエ浜祭り(7月)
大根寒干やぐらライトアップ(12月～)

特産品

早堀バレイショ・お茶・ヒラマサ
葉たばこ・干し大根・お茶・畜産物

南大隅町

Minamioosumi

南国ならではの温暖な気候と手つかずの自然が残る本土最南端の町「南大隅町」。

抜群の景色が楽しめる「佐多岬」や絶景に息をのむ「雄川の滝」など見どころいっぱい。大自然が育んだ美味しい山と海の幸も町の自慢です。



名所 佐多岬展望公園

佐多岬展望公園・雄川の滝・台場公園
パノラマパーク西原台・ゴールドビーチ大浜

主なイベント

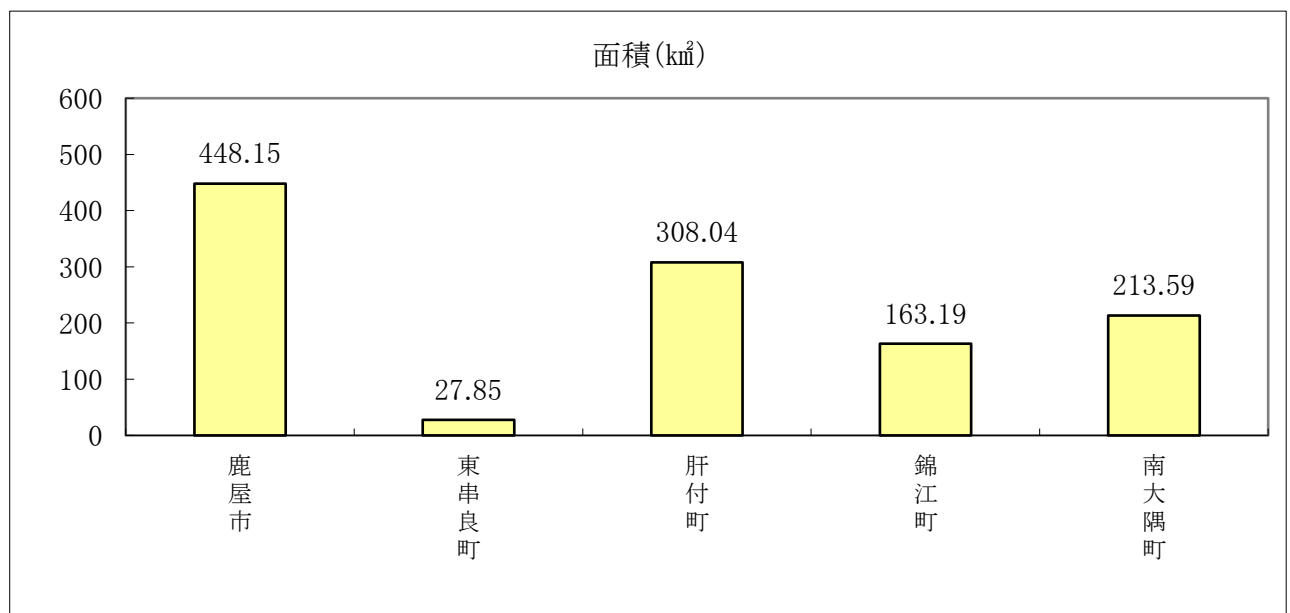
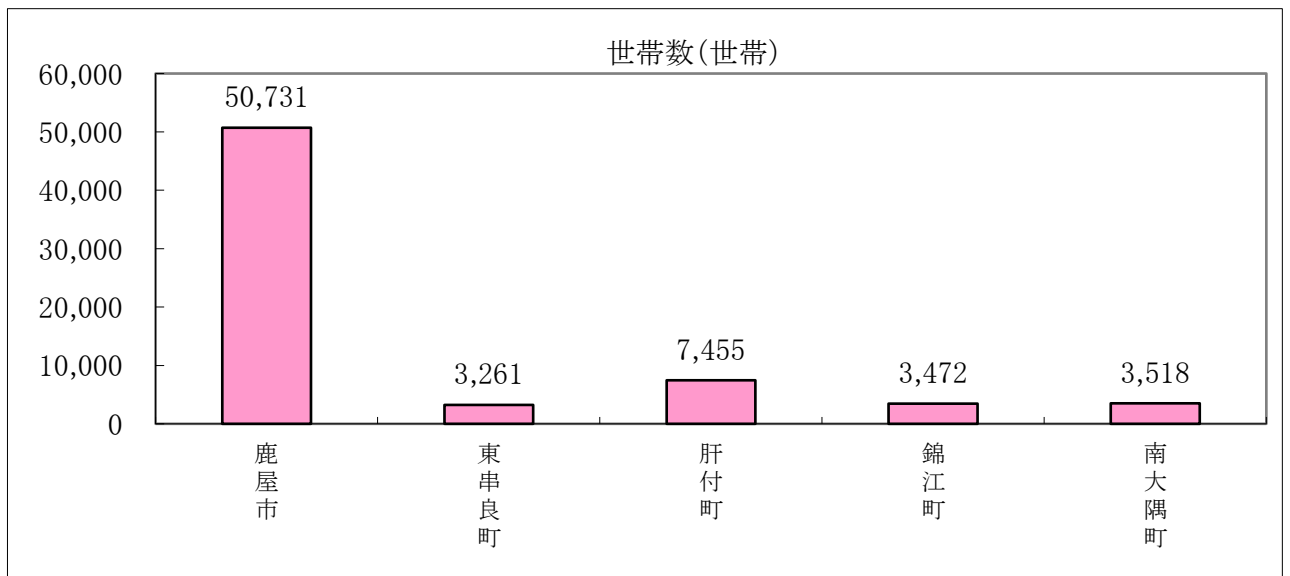
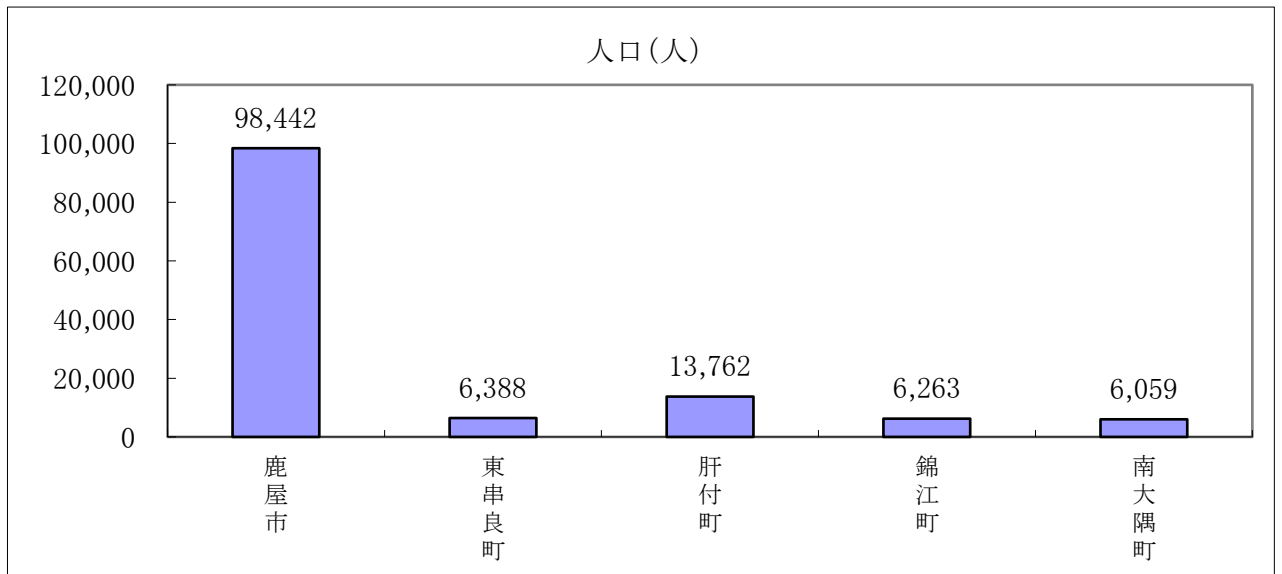
オドル野菜プロジェクト収穫祭with南大隅町
花火大会(8月)、御崎祭り(2月)

特産品

バレイショ・タンカン・ねじめびわ茶
トサカノリ・パッションフルーツ(時計草)

消防組合管内の人口概要

(令和6年4月1日)



消防組合の沿革

昭和52年 4月 1日	<ul style="list-style-type: none"> ・大隅肝属地区消防組合発足 初代管理者に平田準氏（鹿屋市長）が、初代消防長に花田勉氏（鹿屋市消防長）が就任した。 ・人員99人 鹿屋市消防職員51人 （うち、鹿屋市からの出向職員 2人） 新規採用者48人 ・車両16台 鹿屋市消防車両 8台 新規配置車両 8台 ・消防本部、中央消防署は従来の鹿屋市消防庁舎にて、また、東部消防署並びに南部消防署は仮庁舎（串良町消防会館・大根占町中央分団詰所）にて業務開始
9月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・日本損害保険協会より救急車 1台寄贈があり佐多分署に配置（増車）
10月 1日	<ul style="list-style-type: none"> ・内之浦分署、佐多分署がそれぞれ仮庁舎（内之浦中央分団詰所、佐多中央分団詰所）にて業務開始
12月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・水槽付消防ポンプ車（日野6,210cc、1,500ℓ 水槽） 4台を購入（増車） 東部消防署、南部消防署、内之浦分署、佐多分署に配置
昭和53年 1月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・東部消防署庁舎、南部消防署庁舎、共に鉄筋コンクリート造 2階建延522.3㎡、及び東部消防署訓練塔鉄骨造 4階建延23.04㎡が新築落成移転
3月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・日本自動車工業及び県共済農業協同組合連合会から救急車各 1台の寄贈があり（増車）、東部消防署、南部消防署に配置
3月31日	<ul style="list-style-type: none"> ・内之浦分署庁舎、鉄筋コンクリート造 2階建延236.56㎡、及び佐多分署庁舎鉄筋コンクリート造平屋建189.75㎡がそれぞれ新築落成移転
10月 1日	<ul style="list-style-type: none"> ・消防長花田勉氏の退任に伴い、第 2代消防長に森園千治氏が就任
12月 4日	<ul style="list-style-type: none"> ・議会定例会において職員定数条例改正、定数126人となる（昭和54年 4月 1日施行）
12月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・消防ポンプ車（いすゞ2,700cc、B 1級） 2台を購入（増車）、東部消防署、南部消防署に配置
昭和54年 1月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡車（日産グロリア2,000cc、ライトバン型） 1台を購入、消防本部に配置（増車）
1月31日	<ul style="list-style-type: none"> ・消防本部、中央消防署庁舎、鉄筋コンクリート造 2階建延1,345.6㎡、及び訓練塔鉄骨造 4階建延40.96㎡が新築落成移転
3月 1日	<ul style="list-style-type: none"> ・隊員輸送車（日野マイクロバス5,010cc、定員29人） 1台を購入、消防本部に配置
4月 1日	<ul style="list-style-type: none"> ・消防職員29人採用、実員126人となる ・職員厚生会による消防音楽隊が発足、隊員26人
4月 9日	<ul style="list-style-type: none"> ・肝付地区危険物安全協会から軽広報車（ダイハツ550cc、ライトバン型） 1台の寄贈があり、消防本部に配置（増車）

5月1日	・通信指令装置が設置され、指令室が発足、専従制となる
5月30日	・指揮広報車（日産ブルーバード1,600cc、ライトバン型）3台購入（増車）、中央消防署、東部消防署、南部消防署に配置
7月25日	・救命ボート（アルミ組立式14SS型、15馬力船外機付）2隻購入、東部消防署、南部消防署に配置
8月25日	・議会臨時会において職員定数条例改正、定数132人となる（昭和55年4月1日施行）
12月22日	・南部消防署訓練場が拡張整備される（1,129㎡）
12月24日	・東部消防署訓練場が拡張整備される（2,282㎡）
12月25日	・南部消防署訓練塔、鉄骨造5階建延59.5㎡新築落成
昭和55年1月31日	・佐多分署職員待機宿舎、鉄筋コンクリート造平屋1棟2戸建134.66㎡が新築落成
2月29日	・東部消防署水防倉庫、木造スレート葺き平屋建41.25㎡新築落成（職員施工）
3月6日	・救命ボート（アルミ組立式14SS型、15馬力船外機付）1隻購入、中央消防署に配置
3月10日	・南部消防署水防倉庫、木造スレート葺き平屋建6.9㎡新築落成（職員施工）
3月30日	・内之浦分署職員待機宿舎、鉄筋コンクリート造平屋1棟2戸建134.66㎡が新築落成
3月31日	・中央消防署水防倉庫、木造スレート葺き平屋建48.75㎡新築落成（職員施工） ・大根占、根占ライオンズクラブから救急車1台の寄贈があり、南部消防署に配置
4月1日	・職員厚生会所属の消防音楽隊が消防組合音楽隊となる ・職員6人を採用、実員132人となる ・中央消防署に特別救助隊が発足、隊員8人
6月25日	・議会臨時会において職員定数条例改正、定数136人となる（昭和56年4月1日施行）
8月5日	・指揮広報車（スバル1,590cc、ライトバン型）2台を購入（増車）、内之浦分署、佐多分署に配置
11月17日	・照明装置付救助工作車（日野6,440cc）1台を購入、中央消防署に配置
11月20日	・タイヨー鹿屋店から救急車1台の寄贈があり、中央消防署に配置
11月26日	・日本防火協会から防火広報車（日野1,980cc、ライトバン型）1台の寄贈があり消防本部に配置（増車）
昭和56年2月28日	・中央消防署訓練場が拡張整備される（2,218㎡）
3月7日	・中央消防署車庫、鉄骨造スレート葺き平屋建66㎡新築落成
4月1日	・消防職員4人採用、実員136人となる
6月28日	・管理者平田準氏が退任
6月29日	・第2代管理者に鹿屋市長蒲牟田喜之助氏が就任

- 8月31日 ・指揮広報車（スバル1,600cc、ライトバン型）1台購入、消防本部に配置（増車）
- 10月1日 ・消防職員1人を採用し欠員を補充、実員135人となる
- 12月16日 ・小型動力ポンプ付水槽車（日野16,260cc、10,000ℓ 水槽）1台購入、中央消防署に配置（増車）
- 昭和57年3月31日 ・南部消防署訓練場が整備(1,146㎡)され延べ2,275㎡となる
- 7月1日 ・佐多分署職員待機宿舎車庫（木造スレート葺平屋1棟2台用36㎡）が新築落成
- 7月2日 ・消防長森園千治氏の退任に伴い、第3代消防長に永瀬二男氏が就任
- 10月14日 ・中央消防署に水槽付消防ポンプ自動車（日野6,440cc、2,000ℓ 水槽）を配置
- 昭和58年3月11日 ・鹿児島県農業共済組合から救急車（日産2,000cc）の寄贈があり中央消防署に配置
- 8月4日 ・内之浦分署職員待機宿舎車庫（木造スレート葺平屋16.2㎡、18㎡）が新築落成
- 昭和59年2月21日 ・佐多町から救急車（トヨタ2,000cc）の寄贈があり佐多分署に配置
- 3月28日 ・消防救急無線中継局(150MHZ ブロック造平屋建8.28㎡)が鹿屋市大浦町荳之元に、また、内之浦町上床と佐多町大泊に中継塔(H15m)が新築落成
- 昭和60年3月5日 ・昭和59年3月28日から借用していた高隈無線中継局舎用借地を購入する(174.54㎡)
- 4月1日 ・消防職員中途退職に伴い1人（経験者）を採用し欠員を補充、実員136人となる
- 9月1日 ・肝付地区危険物安全協会から軽広報車（ダイハツ550ccライトバン型）の寄贈があり、予防課に配置
- 10月16日 ・日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車（日産ディーゼル6,920cc、1,700ℓ 水槽）の寄贈があり中央消防署に配置
- 昭和61年1月1日 ・消防長永瀬二男氏の退任に伴い、第4代消防長に岩元昭二氏が就任
- 3月19日 ・日本損害保険協会から救急車（日産2,000cc）の寄贈があり東部消防署に配置
- 4月1日 ・消防職員中途退職に伴い1人（経験者）を採用し欠員を補充、実員136人となる
- 昭和62年3月10日 ・鹿屋ガスから幼年・少年消防クラブ関係育成物件寄贈
- 6月25日 ・南部消防署訓練塔改修工事が完了する
- 7月7日 ・連絡車（トヨタステーションワゴン2,000cc）を更新購入、本部に配置
- 12月3日 ・議会定例会において職員定数条例改正、定数141人となる（昭和63年4月1日施行）
- 昭和63年3月30日 ・鹿屋ロータリークラブから救急車（トヨタ2,000cc）の寄贈、中央消防署に配置
- 3月31日 ・消防長岩元昭二氏が退任
- 4月1日 ・第5代消防長に松山一郎氏が就任

- 7月20日 ・職員8人を採用、実員141人となる
- 7月20日 ・鹿児島県建設業協会肝属支部から救急車（トヨタ2,000cc）の寄贈、内之浦分署に配置
- 9月10日 ・鹿屋市から軽連絡車（ダイハツ540cc）の寄贈、本部に配置
- 11月10日 ・消防ポンプ自動車（いすゞ3,630cc）1台購入、中央消防署に配置（更新）
- 11月15日 ・指揮広報車（トヨタ1,456cc）2台購入、東部消防署、南部消防署に配置（更新）
- 12月26日 ・救急車（いすゞ1,950cc）1台購入、南部消防署に配置（更新）
- 平成元年6月19日 ・指揮広報車（トヨタ1,650cc）1台購入、中央消防署に配置（更新）
- 9月28日 ・救急車（いすゞ1,990cc）1台購入、南部消防署に配置（更新）
- 平成2年7月20日 ・指揮広報車（トヨタ1,450cc）1台購入、佐多分署に配置（更新）
- 8月30日 ・指揮広報車（日産1,590cc）1台購入、内之浦分署に配置（更新）
- 10月15日 ・防火連絡車（トヨタワゴン1,980cc）1台購入、本部に配置（更新）
- 10月24日 ・消防ポンプ自動車（三菱7,540cc）1台購入、南部消防署に配置（更新）
- 11月21日 ・(株)モナミ会館から救急車（日産2,960cc）1台、隊員輸送車（日野マイクロバス3,830cc、定員29名）1台の寄贈があり、中央消防署、本部にそれぞれ配置（更新）
- 12月10日 ・鹿屋寿自動車学校から救急車（トヨタ2,430cc）1台の寄贈があり、中央消防署に配置（更新）
- 平成3年3月8日 ・議会定例会において職員定数条例改正、定数149人となる（平成3年4月1日施行）
- 3月26日 ・はしご車30m級（日野13,260cc）1台購入、中央消防署に配置（更新）
- 4月1日 ・職員5人を採用、実員143人となる
- 8月26日 ・日本消防協会から防火広報車（三菱1,460cc）1台の寄贈があり、消防本部に配置（更新）
- 8月28日 ・小鹿酒造協業組合から指令車（日産2,000cc）1台の寄贈があり、消防本部に配置（更新）
- 10月21日 ・林野火災工作車（三菱675cc）1台購入、南部消防署に配置（更新）
- 10月25日 ・水槽付消防ポンプ自動車（日野7,410cc）1台購入、佐多分署に配置（更新）
- 11月29日 ・救急車（日産2,960cc）1台購入、佐多分署に配置（更新）
- 平成4年1月22日 ・水口住則氏（鹿屋寿自動車学校会長）から救急車（トヨタ2,400cc）1台の寄贈があり、東部消防署に配置（更新）
- 2月26日 ・東部消防署車庫、鉄筋コンクリート2階建延359.55㎡が新築落成
- 2月29日 ・東部消防署庁舎（522.3㎡）を増改築、延べ530.55㎡となる
- 3月31日 ・消防長松山一郎氏が退任
- 4月1日 ・第6代消防長に前原正雄氏が就任
- 職員4人を採用、実員144人となる
- 10月21日 ・林野火災工作車（三菱657cc）1台購入、東部消防署に配置（更新）
- 12月11日 ・議会定例会において職員定数条例改正、定数155人となる（平成4年12

	月14日施行)
12月16日	・大型化学車（日野13,267cc）1台、泡原液搬送車（日野7,412cc）1台を 購入、東部消防署に配置
平成5年1月1日	・完全週休2日制実施（2当1休、3当1休）
3月16日	・大型高所放水車（三菱14,880cc）1台購入、東部消防署に配置
3月25日	・南部消防署庁舎（522.3㎡）を増改築、延べ530.55㎡となる
6月28日	・管理者蒲牟田喜之助氏が勇退
7月6日	・第3代管理者に鹿屋市長浅井隼人氏が就任
11月25日	・水槽付消防ポンプ自動車（日野7,410cc）1台購入、内之浦分署に配置（ 更新）
平成6年3月31日	・消防長前原正雄氏が退任
4月1日	・第7代消防長に永島浩二氏が就任 ・職員12人を採用、実員153人となる ・管理者浅井隼人氏が急逝
5月27日	・第4代管理者に鹿屋市長山下栄氏が就任
11月8日	・水槽付消防ポンプ自動車（日野7,410cc）1台購入、中央消防署に配置（ 更新）
12月21日	・水口住則氏（鹿屋寿自動車学校会長）から救急車（トヨタ2,430cc）1台 の寄贈があり、内之浦分署に配置（更新）
平成7年3月26日	・消防本部通信指令室・車庫、鉄筋コンクリート2階建480.15㎡を新築
5月12日	・肝付地区危険物安全協会から軽広報車（ダイハツ540cc、ライトバン） の寄贈があり、消防本部予防課に配置
平成8年2月1日	・土地区画整理事業により地番変更、鹿屋市新川町800番地となる
3月31日	・職員6人、構成市町に身分替え ・消防長永島浩二氏が退任
4月1日	・第8代消防長に山之口充氏が就任 ・職員7人を採用、実員154人となる ・消防緊急通信指令システム（自治省消防庁Ⅱ型）運用開始
7月22日	・東部消防署、南部消防署風向風速計更新
8月30日	・気象衛星ひまわり画像受信装置導入、運用開始
11月28日	・南部消防署車庫兼水防倉庫、鉄筋コンクリート平屋建60.0㎡を新築
平成9年2月27日	・高規格救急車1台購入、中央消防署に配置、運用訓練を開始する
3月31日	・職員6人、構成市町に身分替え ・消防長山之口充氏が退任
4月1日	・第9代消防長に奥村智雄氏が就任 ・職員7人を採用、実員155人となる
5月12日	・高規格救急車運用開始
8月25日	・中央消防署内装改修工事完了
10月31日	・本部・中央消防署外壁防水塗装工事完了
12月1日	・東部消防署3点セット訓練施設新設工事完了

- 平成10年 3月27日 ・ 東部消防署車庫舗装工事完了
- 3月30日 ・ 中央消防署車庫前舗装補修工事完了
- 3月31日 ・ 職員1人、構成市町に身分替え
- 4月1日 ・ 職員7人を採用、実員155人となる
- 12月3日 ・ 指揮広報車3台購入、中央消防署、東部消防署、南部消防署に配置（更新）
- 12月18日 ・ 南部消防署外壁防水塗装工事完了
- 平成11年 1月18日 ・ 内之浦分署外壁防水塗装工事完了
- 2月16日 ・ 中央消防署訓練塔塗装工事完了
- 2月18日 ・ 消防本部事務室・研修室改修工事完了
- 2月19日 ・ 救助工作車Ⅲ型1台購入、中央消防署に配置（更新）
- 3月31日 ・ 消防長奥村智雄氏が退任
- 4月1日 ・ 第10代消防長に久保勇氏が就任
- 6月22日 ・ 消防緊急通信指令施設2000年対応改修工事完了
- 8月16日 ・ 日本損害保険協会から水槽付ポンプ自動車（日野8,000cc、2,000ℓ 水槽）の寄贈があり、中央消防署に配置（更新）
- 10月20日 ・ 日本宝くじ協会から訓練指導車「けすゾウくん」（マツダ2,500cc）の寄贈があり、消防本部に配置
- 10月23日 ・ 大隅肝属地区少年婦人防火委員会発足20周年記念防火フェスタ開催
- 11月28日 ・ 消防音楽隊20周年記念演奏会開催（鹿屋市）
- 12月24日 ・ 東部消防署外壁防水塗装工事完了
- 平成12年 1月31日 ・ 東部消防署訓練場造成工事完了
- 2月3日 ・ 高規格救急自動車（トヨタ3,400cc）1台を購入、東部消防署に配置し運用開始
- 2月10日 ・ 普通救急車（トヨタ3,400cc）2台を購入、中央消防署、南部消防署に配置（更新）
- 3月24日 ・ 中央消防署駐車場舗装工事完了
- 3月31日 ・ 消防長久保勇氏が退任
- 4月1日 ・ 第11代消防長に湯地定敏氏が就任
- 職員4人を採用し、実員154人となる
- 指令課を新設し、警防課から指令、通信業務を分離する
- 6月30日 ・ 消防本部・中央消防署庁舎耐震診断実施
- 8月8日 ・ 指揮広報車2台購入、内之浦分署、佐多分署へ配置（更新）
- 11月26日 ・ 消防音楽隊ファミリーコンサート開催（大根占町）
- 12月15日 ・ 高規格救急自動車（トヨタ3,400cc）1台購入、南部消防署に配置し運用開始
- 平成13年 2月21日 ・ 中央消防署訓練用地購入（1,376㎡）
- 2月23日 ・ 議会定例会において職員定数条例改正、定数160人となる（平成14年4月1日施行）

- 3月27日 ・ 東部消防署、南部消防署、内之浦分署、佐多分署庁舎耐震診断実施
- 3月30日 ・ 中央消防署訓練用地造成及び訓練施設完成
- 3月31日 ・ 消防長湯地定敏氏が退任
- 4月1日 ・ 第12代消防長に宮藺虎市氏が就任
・ 職員4人を採用し、実員154人となる
- 10月1日 ・ 消防OAシステム運用開始
- 10月3日 ・ 防火連絡車1台購入、予防課に配置
- 11月25日 ・ 消防音楽隊ふれあいコンサート開催（高山町）
- 12月27日 ・ 普通救急車（トヨタ3,400cc）1台を購入、東部消防署に配置（更新）
- 平成14年1月23日 ・ 消防本部に多目的研修棟、鉄骨2階建、延286.0㎡が新築落成
- 4月1日 ・ 職員7人を採用し、実員160人となる
- 平成15年2月10日 ・ 化学車（日野7,960cc）1台購入、中央消防署に配置し運用開始
- 3月31日 ・ 消防長宮藺虎市氏が退任
- 4月1日 ・ 第13代消防長に福迫隆徳氏が就任
・ 職員6人を採用し、実員160人となる
- 6月1日 ・ ホームページ運用開始
- 6月24日 ・ 軽連絡車（ダイハツ660cc）1台を購入、総務課に配置（更新）
- 11月12日 ・ 指令車（三菱2,970cc）1台を購入、警防課に配置（更新）
- 11月18日 ・ 普通救急車（トヨタ3,370cc）1台を購入、佐多分署に配置（更新）
- 12月8日 ・ 水槽車（三菱21,200cc）1台を購入、中央消防署に配置（更新）
- 平成16年1月20日 ・ 高規格救急車（トヨタ3,370cc）1台を購入、中央消防署に配置（更新）
- 2月4日 ・ 東部消防署発電機室（更新）、消毒室の設置（庁舎の一部改築）
- 2月13日 ・ 中央消防署に消毒室を新築（37㎡）
- 4月1日 ・ 職員2名が退職し、実員158人となる
- 11月12日 ・ 普通救急車（トヨタ3,370cc）1台を購入、内之浦分署に配置（更新）
- 12月17日 ・ 林野救助工作車（日野4,000cc）1台を購入、東部消防署に配置（更新）
- 12月20日 ・ 林野救助工作車（いすゞ3,050cc）1台を購入、南部消防署に配置（更新）
- 平成17年2月10日 ・ 南部消防署発電機室移設
- 2月14日 ・ 南部消防署消毒室の設置（庁舎の一部改築）
- 3月22日 ・ 錦江町発足（大根占町と田代町の合併による）
- 3月31日 ・ 南大隅町発足（根占町と佐多町の合併による）
・ 消防長福迫隆徳氏が退任
- 4月1日 ・ 第14代消防長に山崎良一氏が就任
・ 職員3人が退職し、実員156人となる
- 7月1日 ・ 肝付町発足（高山町と内之浦町の合併による）
- 平成18年1月1日 ・ 新鹿屋市発足（鹿屋市、吾平町、串良町、輝北町の合併による）
- 2月28日 ・ 水槽付消防ポンプ自動車（日野6,400cc、1,500ℓ水槽）1台購入、南部消防署に配置（更新）
- 4月1日 ・ 職員1人が退職、17年度中に2人が退職、計3人が退職し、実員153人となる

4月3日	・高機能指令センターⅡ型運用開始（更新）
9月1日	・防犯・防火パトロール隊発足
平成19年4月1日	・職員5人が退職、職員10人を採用し、実員157人となる
7月31日	・議会臨時会において職員定数条例改正、定数168人となる（平成20年4月1日施行）
9月1日	・職員1人を採用、実員158人となる
平成20年3月31日	・消防長山崎良一氏が退任
4月1日	・第15代消防長に中垣内徳生氏が就任 ・輝北分署が大隅曾於地区消防組合から移管され、鉄骨造平屋建243.26㎡・石造倉庫28.89㎡及びミニタンク車（三菱4,210cc）、高規格救急車（トヨタ3,370cc）が当組合に配置され、1本部3署3分署となる
	・職員7名と移籍職員5人を採用し、実員168人となる
5月27日	・軽連絡車（三菱650cc）1台を購入、輝北分署に配置（新規）
12月17日	・（社）日本損害保険協会から高規格救急車2,690cc（車体のみ）寄贈があり、中央消防署に配置
平成21年4月1日	・職員2人が退職、実員165人となる
平成22年2月4日	・管理者山下栄氏が退任
2月5日	・第5代管理者に鹿屋市長嶋田芳博氏が就任
4月1日	・職員5人が退職、職員8人を採用し、実員168人となる
7月24日	・軽査察車（三菱650cc）1台を購入、中央消防署に配置（新規）
9月28日	・訓練指導車（マツダ2,490cc）を資機材搬送車に改造、警防課に配置
11月30日	・ボートトレーラーを購入し警防課に配置（新規）
12月10日	・高規格救急車（日産3,490cc）1台を購入、東部消防署に配置（更新）
平成23年2月22日	・議会定例会において職員定数条例改正、定数182人となる（平成23年4月1日施行）
3月31日	・消防長中垣内徳生氏が退任
4月1日	・第16代消防長に山元耕一氏が就任
	・職員5人が退職、職員6人を採用し、実員168人となる
7月25日	・連絡車（スバル1,994cc）1台を購入、総務課に配置（更新）
10月1日	・職員3人採用、平成23年度中1人が退職し実員170人となる
10月28日	・本部、中央消防署外壁改修及び屋根防水工事
12月16日	・中央消防署訓練塔（鉄骨造4階建て）1棟を老朽化により解体
平成24年1月14日	・高規格救急車（日産3,490cc）2台を購入、南部消防署と輝北分署に配置（更新）
4月1日	・職員3人が退職、職員12人を採用し、実員179人となる
8月24日	・指揮広報車（三菱2,350cc四輪駆動）1台を購入、南部消防署に配置（更新）
10月1日	・職員3人採用、平成24年中1人が中途退職し、実員181人となる
11月14日	・高規格救急車（トヨタ2,690cc）2台を購入、中央消防署と南部消防署に配置（更新）

- 11月22日 ・財団法人救急振興財団から救急普及啓発広報車（日産4,470cc）の寄贈があり、警防課に配置（新規）
- 11月27日 ・議会定例会において職員定数条例改正、定数外職員採用が議決される（平成25年4月1日施行）
- 平成25年2月28日 ・総務省消防庁から人員輸送車（日野21人乗り）が貸与され警防課に配置
- 3月8日 ・タンク車（日野4,000cc 水600リットル入、薬剤混合装置）を購入、佐多分署に配置（更新）
- 3月31日 ・消防長山元耕一氏が退任
- 4月1日 ・第17代消防長に谷口義昭氏が就任
・職員8人が退職、職員12人を採用し、実員185人となる
・鹿児島県消防学校に教官として1人派遣
- 6月27日 ・防火連絡車（日産2,480cc）1台を購入、予防課に配置（更新）
- 9月13日 ・連絡車（軽トラック三菱650cc）1台を購入し、指令課に配置
- 10月4日 ・立元明光氏から高規格救急車1台（日産3,490cc）の寄贈があり、中央消防署に配置
- 10月1日 ・職員3人を採用、実員188人となる
- 10月15日 ・高規格救急車（トヨタ2,690cc）1台を購入、佐多分署に配置（更新）
- 11月14日 ・高規格救急車（トヨタ2,690cc）1台を購入、内之浦分署に配置（更新）
- 11月20日 ・一般社団法人日本自動車工業会から高規格救急車（トヨタ2,690cc）の寄贈があり東部消防署に配置
- 12月11日 ・タンク車（日野6,400cc、水2,000ℓ入）を購入、東部消防署に配置（更新）
- 平成26年2月4日 ・管理者嶋田芳博氏が退任
- 2月5日 ・第6代管理者に鹿屋市長中西茂氏が就任
- 3月31日 ・消防長谷口義昭氏が退任
- 4月1日 ・第18代消防長に小竹一郎氏が就任
・職員8人が退職、職員7人を採用し、実員187人となる
- 9月11日 ・指揮車（スバル1,998cc）2台を購入、中央消防署と東部消防署に配置（更新）
- 11月30日 ・消防本部庁舎（鉄骨造2階建、延面積477.52㎡）が新築落成移転
- 12月10日 ・高規格救急車（日産3,490cc）1台を購入、中央消防署に配置（更新）
- 12月17日 ・タンク車（日野4,000cc、水900ℓ入・薬剤混合装置30ℓ入）2台を購入し、内之浦分署と輝北分署に配置（更新）
- 12月19日 ・中央消防署訓練施設（鉄筋コンクリート造3階建、延面積341㎡）が新築落成
- 平成27年3月2日 ・消防救急デジタル無線、高機能消防指令センター（部分更新）運用開始
- 3月20日 ・南部消防署訓練施設（仮設）完成
- 4月1日 ・職員4人が退職、職員7人を採用し、実員190人となる
- 5月22日 ・肝属地区危険物安全協会から軽広報車（スバル660cc）の寄贈があり、予防課に配置

平成28年 3月 4日	・はしご付消防自動車（日野8,860cc、先端屈折式35m級）1台を購入、中央消防署に配置（更新）
3月17日	・鹿屋市輝北町(株)森建設からの救急車導入を目的とした寄附金により高規格救急車（日産3,490cc）1台及び救急資器材を購入、輝北分署に配置
3月18日	・中央消防署庁舎改修工事（改修工事と併せて中央署庁舎内に女性消防職員用のトイレ、浴室、仮眠室、ロッカー室を整備） ・高機能消防指令センター部分更新（3分の2工期目）終了
3月31日	・消防長小竹一郎氏が退任
4月 1日	・第19代消防長に前田忠盛氏が就任 ・職員14人が退職（うち中途退職6人）、職員6人を採用し、実員182人となる
平成29年 1月31日	・高機能消防指令センター更新終了（3分の3工期目）、新システムに完全移行
4月 1日	・職員3人が退職、職員7人を採用し、実員186人となる
10月10日	・中央消防署放水訓練用擁壁工事及び駐車場舗装整備完了
12月20日	・高規格救急車（トヨタ 2,690cc）1台を購入、東部消防署に配置（更新）
平成30年 2月16日	・議会定例会において職員定数条例改正、定数外職員採用（救急救命士研修及び育児休業）が議決される（平成30年4月1日施行）
3月19日	・救助工作車Ⅱ型（日野 5,120cc、バス型）1台購入、中央消防署に配置（更新）
3月31日	・消防長前田忠盛氏が退任
4月 1日	・第20代消防長に吉松宏志氏が就任 ・職員5人が退職（うち中途退職2人）、職員7人（うち組合初の女性職員2人）を採用し、実員188人となる ・組合初の女性消防職員採用（2人）
7月30日	・佐多分署外壁防水塗装工事完了
7月31日	・指揮広報車（スズキ 650cc）2台購入、内之浦分署と佐多分署に配置（更新）
10月30日	・佐多分署増築工事完了
12月11日	・泡原液搬送車（日野 5,123cc、タンク容量 4,500ℓ、小型ポンプ積載）1台を購入、東部消防署に配置（更新）
平成31年 3月 8日	・大型化学高所放水車（日野 8,860cc、直進式 27m級）1台を購入、東部消防署に配置（更新）3点セットから省力型2点セットとなる
3月31日	・消防長吉松宏志氏が退任
4月 1日	・第21代消防長に和田次博氏が就任 ・職員9人が退職（うち中途退職3人）、職員6人を採用し、実員185人となる 再任用1人採用（定数外）
令和元年 6月26日	・指令課棟防水工事完了
7月26日	・指揮広報車（スズキ 650cc）購入、輝北分署に配置（更新）
12月 6日	・高規格救急車（トヨタ 2,690cc）1台購入、南部消防署に配置（更新）

令和2年2月6日	・化学消防ポンプ自動車（日野 5, 120cc）1台購入、中央消防署に配置（更新）
2月20日	・水槽付消防ポンプ自動車（日野 5, 120cc）1台購入、南部消防署に配置（更新）
4月1日	・職員9人が退職（うち中途退職6人）、職員7人（うち女性1人）を採用し、実員183人となる 再任用2人採用（定数外） ・会計年度任用職員4人採用
7月6日	・令和2年7月豪雨により鹿屋市新川地区が浸水し、消防本部及び中央消防署も一部浸水
8月19日	・松元喜則氏から感染防護衣一式500セットの寄贈があり、各所属に配布
9月8日	・南部消防署グラウンド舗装工事完了
9月23日	・輝北分署石蔵撤去工事完了
10月14日	・中央消防署補助訓練塔建設工事完了（更新）
令和3年1月12日	・高規格救急車（日産 2, 480cc）1台を購入、中央消防署に配置（更新）
1月19日	・平和リース株式会社からの救急車導入を目的とした寄附金により高規格救急車（日産 2, 480cc）1台を購入、内之浦分署に配置（更新）
3月9日	・資機材搬送車（4, 000cc）1台を購入、警防課に配置（更新）
3月29日	・消防指揮車（2, 699cc）1台を購入、警防課に配置（更新）
3月31日	・消防長和田次博氏が退任
4月1日	・第22代消防長に波江野孝氏が就任 ・職員10人が退職（うち中途退職1人）、職員7人（うち女性2人）を採用し、実員181人（うち女性5人）となる 再任用7人採用（定数外） ・会計年度任用職員4人採用
6月25日	・内之浦分署庁舎建替えに伴う用地を取得
8月2日	・中央消防署防水工事完了
8月12日	・本部事務所屋外階段屋根設置工事完了 ・中央消防署女性仮眠室改修工事完了
10月26日	・南部消防署庁舎防水工事完了
10月29日	・中央消防署煙道建設工事完了（更新）
令和4年1月11日	・無人航空機（ドローン）3機を購入、3署に配置
4月1日	・職員5人が退職（うち中途退職2人）、職員3人を採用し、実員179人（うち女性5人）となる 再任用5人採用（定数外） ・会計年度任用職員4人採用
6月10日	・株式会社カナザワから新型コロナウイルス、自然災害に対する警防体制の強化・拡充を目的とした寄附があり、コロナ・災害対策資機材（救命ボート、水難救助器具、搬送時コロナ感染防止器具等）を購入、各所属に配布
9月21日	・救助工作車（4, 000cc）1台を購入、東部消防署に配置（更新）
9月28日	・株式会社カナザワ 代表取締役 金沢幸一氏からの救急車導入を目的とした寄附金により高規格救急車（日産 2, 480cc）1台を購入、中央消防

	署に配置（更新）
令和5年3月10日	・内之浦分署庁舎、鉄筋コンクリート造3階建延341㎡新築落成移転
3月15日	・東部消防署車庫屋根取替工事、車庫防水工事完了
3月31日	・消防長波江野孝氏が退任
4月1日	・第23代消防長に内山智文氏が就任
	・職員5人が退職（うち中途退職3人）、職員3人を採用し、実員177人（うち女性5人）となる 再任用5人採用（定数外）
	・会計年度任用職員4人採用
	・内之浦分署庁舎本格運用開始
12月13日	・中央消防署はしご車オーバーホール完了
令和6年1月10日	・音楽隊冬演奏服更新
1月31日	・佐多分署外壁塗装工事完了
2月15日	・高規格救急車（日産2,480cc）2台を購入、東部消防署と佐多分署に配置（更新）
2月19日	・南部消防署非常用発電機設置工事完了
2月26日	・中央消防署ブリッジ救出・渡過訓練施設建設工事完了
3月11日	・中央消防署フェンス修繕工事完了
4月1日	・職員1人が退職（うち中途退職1人）、職員3人（うち女性1人）を採用し、実員179人（うち女性6人）となる 再任用4人採用（定数外）
	・会計年度任用職員4人採用